

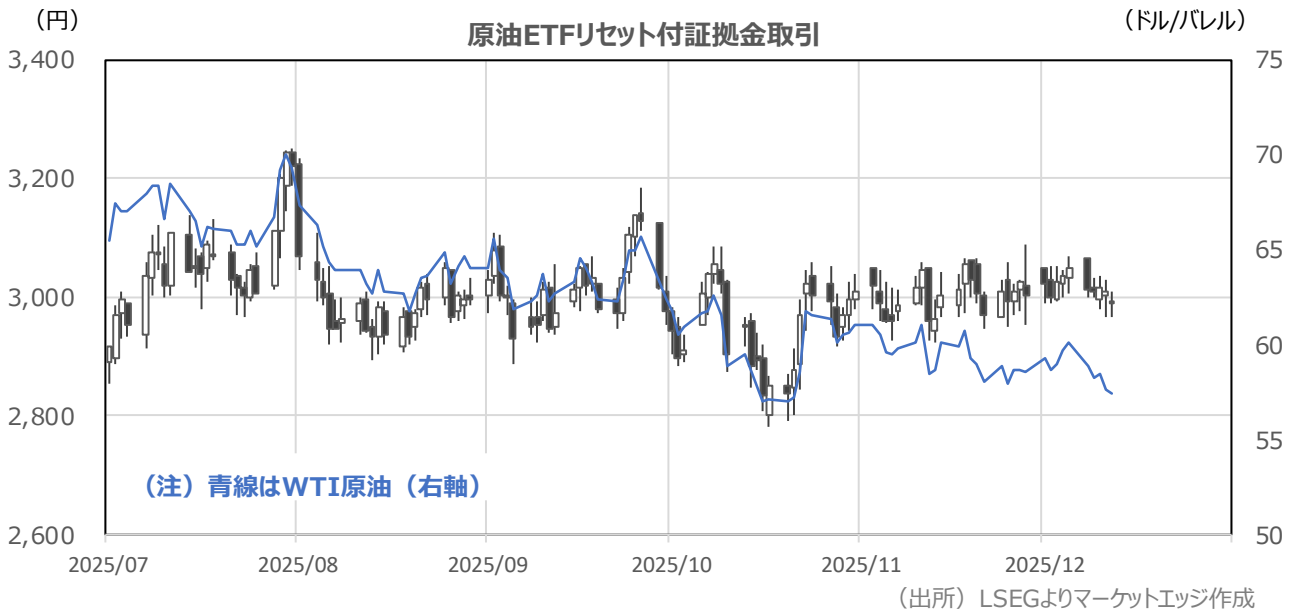
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/12/15号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



地政学リスク緩和期待で、10月下旬以来の安値

NY原油先物相場は、1バレル=50ドル台後半で上値の重い展開になった。ウクライナ和平への期待が強まる中、調整売りが優勢の展開になった。先行き不透明感は強いが、トランプ米大統領はクリスマスまでの合意を目指す方針を示している。米軍がベネズエラ沖で石油タンカーを拿捕、黒海周辺で激しい戦闘が続くなど地政学リスクのサポートも維持されているが、戻り売り優勢の展開になった。12月11日安値は57.01ドルに達し、10月21日以来の安値を更新している。

ウクライナ和平を巡る協議が続いている。ウクライナのゼレンスキー大統領はロシアの侵攻終結に向けて、トランプ米政権が東部ドネツク州に非武装の「自由経済区」を設ける案を提案していることを明らかにした。ウクライナ政府はこうした案を受け入れる用意があるとしており、ロシア軍による部分的な占領を事実上認める譲歩を行うことになる。ロシアが受け入れるかは不透明だが、クリスマスまでに和平合意が実現する可能性も浮上していることが、原油相場を下押しする要因となった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月5日時点）は、原油が前週比181万バレル減、ガソリンが640万バレル増、石油精製品が250万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【展望】

ウクライナ和平に前進だと、年初来安値を試す可能性も

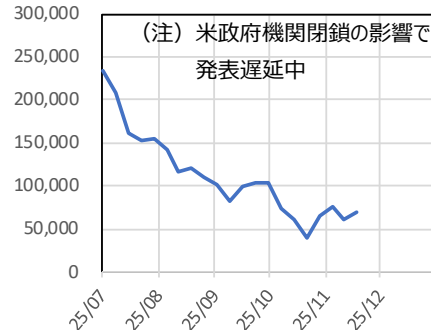
地政学環境は依然として不安定だが、原油相場は戻り売り優勢の地合が続く見通し。地政学リスクを高めるような動きがみられても、徐々に60ドル台に乗せることは難しくなっており、コアレンジが切り下がる傾向にある。特にウクライナ和平を巡る動向が注目されている。ウクライナとロシアが和平案で歩み寄りを見せると、原油相場は4月に付けた今年最安値55.12ドルを試す可能性もある。

一方、ベネズエラ情勢には注意が必要だ。麻薬密輸問題を巡り、米軍は麻薬密輸船への攻撃を繰り返しているが、前週はベネズエラ沖で石油タンカーを拿捕した。トランプ米大統領は繰り返し地上作戦が近いと警告しており、実際にベネズエラの麻薬関連施設が攻撃されると、一時的に60ドル水準まで切り返す可能性は想定しておく必要がある。また、ウクライナ和平協議が難航した場合、黒海周辺での戦闘激化によって、突発的な流通障害が発生する可能性もある。

ただし、こうした地政学リスク関連の動きで原油相場を押し上げることは徐々に難しくなっており、戻り売り優勢の地合は崩れないだろう。地政学リスク織り込みの上昇局面があれば、投機的な売りが膨らむ可能性が高い。

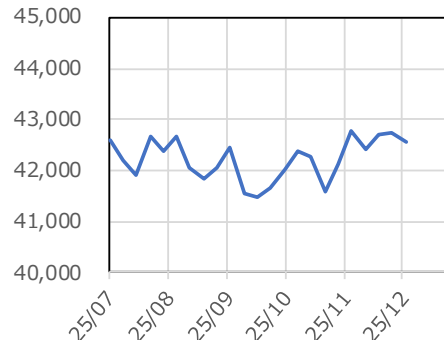
12月11日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が発表されたが、2026年の世界石油需給見通しは、需要が日量86万バレル増（25年は83万バレル増）に対して、供給が240万バレル増（同300万バレル増）とされている。大規模な供給障害が発生するか、生産調整が行われない限り、原油需給の緩和見通しに変化は生じない。まだ底入れ感の形成は難しい状況にある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



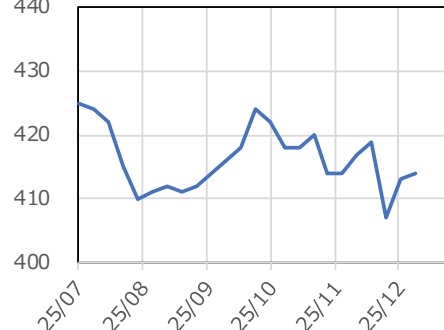
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

